



月イチでD.I.Y.なものづくり。

筆筒で体を鍛えて  
女の子にモテようぜ。

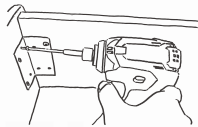
Product\_name

Bouldering TANSU

Material

- ・筆筒 お好みの設定で  
(今回は引き出しタイプを2つ)
- ・クライミングホールド 適量
- ・爪つきナットM10 ホールドと同数
- ・キャップボルトM10 50mm程度  
ホールドと同数
- ・補強金具、木材など 必要に応じて

2.安全に遊ぶためには補強が必要。



4.これが爪つきナットだ！  
しっかり固定。

How to make

- 1 まずは丈夫な筆筒を用意。実際に使用している筆筒でもOK。問題は筆筒のサイズや強度など。スタートは床に尻をついた状態となるので、それを考慮の上、自分の望む高さを選択しよう。
- 2 ホールドを取り付ける前に、各所の補強を念入りに。引き出し内部、各部繋ぎ目は、例えばL金具などで補強をしたり、板厚が薄かったり、フラッシュ材の場合は追加で合板を加えるなど……。2段に積み上げる場合は上下のジョイントもお忘れなく。無垢材の筆筒を選択すると加工がとて楽。
- 3 筆筒の前に座り、ホールドのレイアウトを考える。両面テープなどで仮固定をしながら検討するのがオススメ。
- 4 レイアウトが決まったら、ホールドの穴位置をペンでチェックし、ドリルで下穴を開け、内側面に爪つきナットを仕込み、ホールドを当て、キャップボルトを差し込み六角レンチで締め付けていく。
- 5 取り付け作業が終わったら、設置場所の確保。落っこちても安全なスペースが必要。落下地点には厚手の布団をたっぷり！
- 6 ボルダリング筆筒を設置。筆筒本体の転倒防止対策も抜かりなく、安全第一！

筆筒は登るモノじゃない！ というお叱りの名文句から、木枯らし吹く外に出なくても、家の中でトレーニングができる運動器具を発明？ 家にクライミングウォールが欲しくともガレージでもなけりゃ無理と諦めていたあなた、筆筒なら洋服の片付けもできるし一挙両得。オーバーハングの壁も引き出しを出すだけで簡単に作れるし、レイアウトに飽きたら引き出しの位置を変えるだけで無数の配列が楽しめる。鍛え上げられた体で、女の子にモテモテの日を夢見て、まずは、部屋の片付けからかな。

ゲルチョップ | D.I.Y.造形グループ。モリカワリョウタ、オザワテツヤ、タカハシリョウヘイがメンバー。オリジナルのホールドでアトリエに壁を作った経験あり☑。

DIYに踏み出す理由のひとつは、どこにも存在しないものだから。面倒くさいのにわざわざ作り出すには、やはりそれなりの衝動があるからなわけで、“天の声”とか環境のこととか、金銭的な理由とか、それぞれの状況が背中を押してのことでしょう。ボクの心の奥底、頭の片隅にいつも存在するのが、じいさんのDIYスピリット。鳥小屋から掃除道具までいろんなものを作っていたけど、なかでも洒落ていたのは、“アンダーシャツの胸元に靴下をポケットみたいに縫い付けていたシロモノ”。ポケットは他にもあるのになぜ僕の深〜いところにわざわざ縫い付けていたのか？ その理由を子供だったボクは聞き出すことができなかったけど、ポケットにはばあさんには内緒の馬券とハイライトが入っていたのをボクは知っている……。

